SONY

2-639-395-**04**(1)

取扱説明書

HDDフォトストレージ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDPS-M10

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～9ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに痛みがないか、各端子やスロット部にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

すぐにお客様ご相談センターまでご連絡ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ ACパワーアダプターやUSBケーブルを取りはずす
❸ お客様ご相談センターに連絡する

データはバックアップをとる

本機内の記録内容は、常にバックアップをとって保存してください。トラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

風呂・シャワー室での使用禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

目次

準備する

本機にデータをコピーする

パソコンとつないで使う

その他

⚠警告

感電

下記の注意を守らないと火災や感電などにより死亡や大けがにつながることがあります。

運転中に使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながら本機を使用することは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- 自動車内に置くときは、急ブレーキなどで本体が落下してブレーキ操作の妨げにならないように充分にご注意ください。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。
内部の点検や修理はお客様ご相談センターにご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

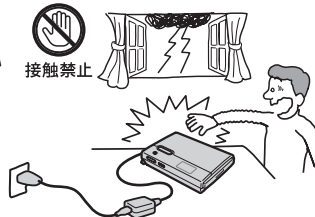
禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この製品は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、AC パワーアダプターや USB ケーブルなどを抜いて、お客様ご相談センターにご連絡ください。

雷が鳴りだしたら、機器にふれない

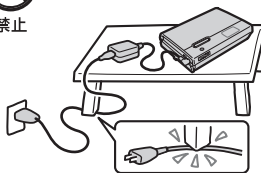
遠くで雷が鳴りだしたときは、感電を避けるため、機器にふれないでください。

持ち運びのときに振り回さない

禁止

ハンドストラップをご使用の場合は、本体を振り回さないようにご注意ください。本体に衝撃を与えたり、ドアにはさまったりすると故障やけがの原因となります。持ち運ぶ際には手で押さえるか、ポケットに入れるなどして本体を固定してください。

電源コードを傷つけない

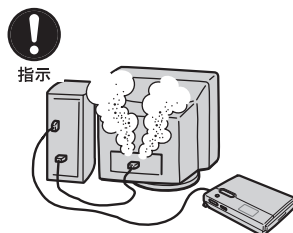
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

メディアは、乳幼児の手の届かない場所に置く

お子さまがメディアを誤って飲み込む恐れがあります。

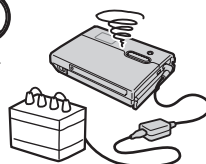
⚠注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

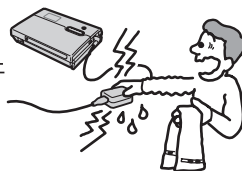
コネクターはきちんと接続する

- コネクターに金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

付属以外の AC パワーアダプターや USB ケーブルを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

ぬれた手で本機や AC パワーアダプターをさわらない

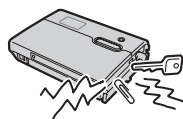
感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは電源コードをはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

ハンドストラップは正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ハンドストラップに傷などがないか使用前に確認してください。

“メモリースティック”、コンパクトフラッシュカードの挿入口や端子などから、内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない

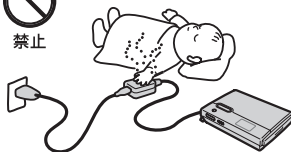
火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

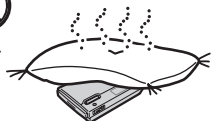
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやUSBケーブルなどは足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中の本体やACパワーアダプターに長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⚠注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

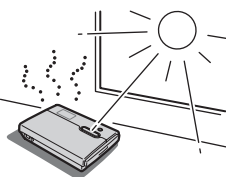
AC パワーアダプターコードや USB ケーブルを AC パワーアダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

車内に長時間設置・保管しない

内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

本機や AC パワーアダプター等を水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。

本機の上に重いものを載せない

壊れたり、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って AC パワーアダプターを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、故障の原因となることがあります。

リチウムイオン電池のリサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。
不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
有限責任中間法人 JBRC ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。

廃棄時の内蔵バッテリーの取りはずしかたは、「内蔵バッテリーの取りはずしかた」（59 ページ）をご覧ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

記録内容の補償はできません

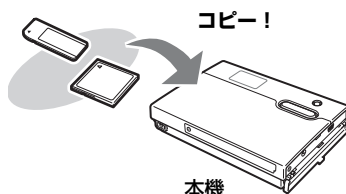
本機のハードディスクドライブに記録されている内容、およびパソコン経由で“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードに記録された内容の補償については、ご容赦ください。

- “Memory Stick”（“メモリースティック”）、MEMORY STICK ™ および“MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート メモリースティック”）はソニー株式会社の商標です。
- “メモリースティック　デュオ”および“ MEMORY STICK DUO ”はソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick Duo”（“マジックゲート メモリースティック　デュオ”）はソニー株式会社の商標です。
- “メモリースティック　PRO”および“ MEMORY STICK PRO ”はソニー株式会社の商標です。
- “メモリースティック　PRO　デュオ”および“ MEMORY STICK PRO DUO ”はソニー株式会社の商標です。
- “マジックゲート”および“ MAGICGATE ”はソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国Apple Computer Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- コンパクトフラッシュは、米国サンディスク社の商標であり、CFA（CompactFlash™ Association）にライセンスされています。
- Microdrive® は Hitachi Global Storage Technologies の登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

本書では Microsoft® Windows® XP Home Edition および Microsoft® Windows® XP Professional の記載を Windows XP として記載しています。
本書では Microsoft® Windows® 2000 Professional の記載を Windows 2000 として記載しています。
本書では Microsoft® Windows® Millennium Edition の記載を Windows Me として記載しています。

こんなことができます

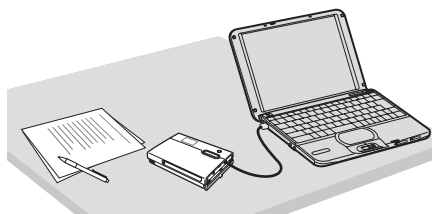
デジカメ画像をどんどん保存できる！

デジタルカメラで撮影完了したメディアを本機に差し込み、画像データを本機の内蔵ハードディスクにコピー。コピーが終わったら、またメディアを戻して使えます。本機の内蔵ハードディスクは大容量 40 GB、64 MB のメディアが約 620 枚保存できます。

パソコンとつないで使えます！

付属の USB ケーブルを使って、メディアや本機に保存されているデータを、手軽にパソコンにコピーできます。パソコンと一緒に使うための特別な設定や、ソフトウェアのインストールなどは必要ありません。

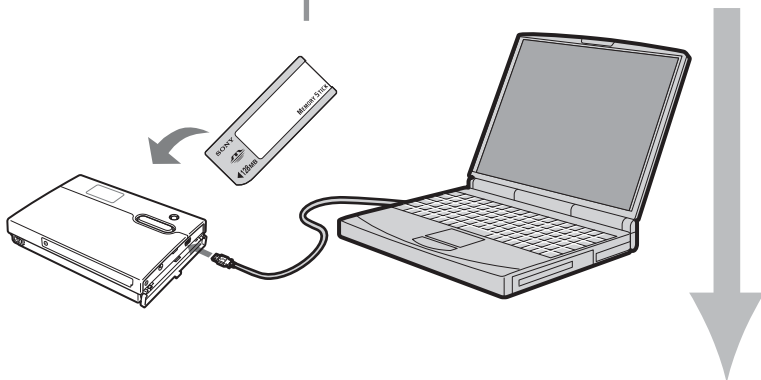
画像をパソコンに取り込むまでの流れは、次ページをご覧ください。

外付けハードディスクドライブとしても使えます！

USB 2.0 対応外付けハードディスクドライブとして、データを保存できます。専用のドライバをインストールせずにパソコンに接続できますので、外出先での急なデータのコピーに対応できます。

カードリーダー／ライターとしても利用できます。

持ち運びにも便利な軽量コンパクト設計！

荷物の多い旅行のときでもかさばらない、コンパクトサイズ。重さも約 300 g と軽量です。

画像をパソコンに取り込むまで

本機で使える記録メディア

本機では、次の記録メディアを使用できます。

“メモリースティック”

“メモリースティック”の種類	本機での記録／再生
“メモリースティック” “メモリースティック”（メモリーセレクト機能付） “メモリースティック　デュオ”	○
“メモリースティック” （マジックゲート／高速データ転送対応） “メモリースティック　デュオ” （マジックゲート／高速データ転送対応）	○ *1
“マジックゲート　メモリースティック” “マジックゲート　メモリースティック　デュオ”	○ *1
“メモリースティック　PRO” “メモリースティック　PRO デュオ”	○ *1

*1 マジックゲート機能が必要なデータの記録や再生はできません。

コンパクトフラッシュカード（CF カード）

- Type I、II
- マイクロドライブ

その他のメディア

- SD カード *1
- マルチメディアカード *1

*1 SD カード / マルチメディアカード用コンパクトフラッシュアダプターが必要です。ただし、すべての SD カードおよびマルチメディアカードの動作を保証するものではありません。

ヒント

対応記録メディアについての最新情報は、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/MS/

ご注意

- すべての“メモリースティック”・メディア、コンパクトフラッシュカード、マイクロドライブ、SD カードおよびマルチメディアカードの動作を保証するものではありません。
- 本機では、4 GB までの“メモリースティック”、コンパクトフラッシュカードおよびマイクロドライブで動作確認を行っています。これを超える容量の“メモリースティック　PRO”、コンパクトフラッシュカードおよびマイクロドライブでの動作は保証しておりません。
- 上記以外のメディアや機器などは、本機に挿入しないでください。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代の IC 記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの 1 つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

“メモリースティック”には、標準サイズのものとその小型サイズの“メモリースティック　デュオ”があります。本機ではどちらでもお使いいただけます。

“メモリースティック”の種類

“メモリースティック”には、用途に応じて以下の 6 種類があります。

“メモリースティック　PRO”

“メモリースティック　PRO”対応機器でのみお使いいただける、著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した“メモリースティック”です。

“メモリースティック”

著作権保護技術（マジックゲート）が必要なデータ以外の、あらゆるデータを記録できる“メモリースティック”です。

“メモリースティック”（マジックゲート／高速データ転送対応）

著作権保護技術（マジックゲート）を搭載し、高速データ転送に対応した“メモリースティック”です。すべての“メモリースティック”対応機器でお使いいただけます。

“マジックゲート　メモリースティック”

著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した“メモリースティック”です。

“メモリースティック -ROM”

あらかじめデータが記録されている、読み出し専用の“メモリースティック”です。データの記録や消去はできません。

“メモリースティック”（メモリーセレクト機能付）

内部に複数のメモリー（128MB）を搭載している“メモリースティック”です。

本体裏面のメモリーセレクトスイッチにより、用途に応じてご使用になるメモリーを選択できます。各メモリーを同時に、また連続でご使用することはできません。

マジックゲートとは

マジックゲートは、“メモリースティック”と機器の両方に搭載されている場合に働く、著作権保護技術です。記録するデータの暗号化と、“メモリースティック”と機器の相互認証の 2 つの技術を使って、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぎます。本機はマジックゲートを搭載していないため、マジックゲートが必要なデータの記録や再生はできません。

マジックゲートを搭載した機器と“メモリースティック”の間では、デジタル音楽データを記録しようとすると、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認します。確認（認証）できた場合のみ、データを暗号化して“メモリースティック”に記録します。記録されたデータを再生するときも同じように、マジックゲートを搭載した機器と“メモリースティック”が相互に確認し、認証された場合のみ再生できます。

パソコンの推奨使用環境

本機は、下記の対応 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されているパソコンで使用できます。

Windows

- Windows XP Professional
- Windows XP Home Edition
- Windows 2000 Professional（Service Pack 4 以降）
- Windows Me

ご注意

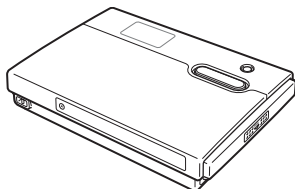
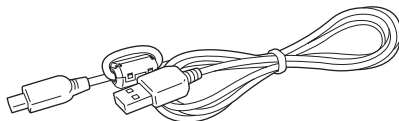
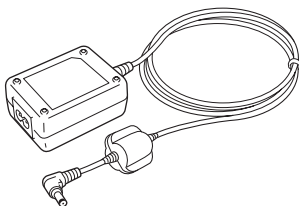
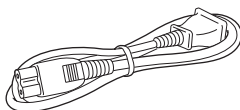
- 上記 OS でもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 後から追加したUSBインターフェースカードやUSB CardBusカードなどをお使いの場合は、動作保証いたしません。

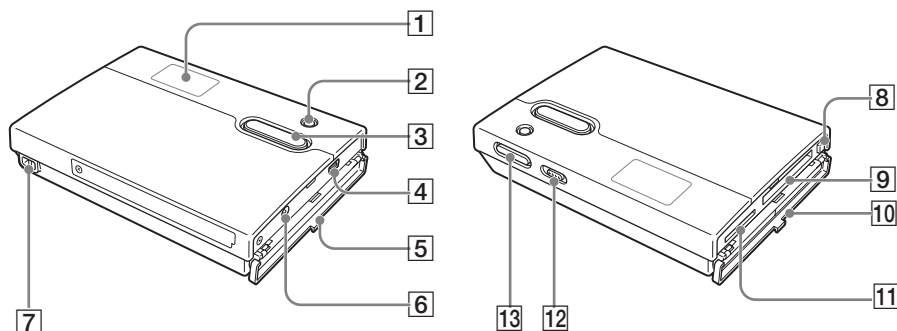
Macintosh

- Mac OS X（v10.3 以降）

付属品を確認する

箱を開けたら、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。
万一、不足しているものがあったり破損しているものがあるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 本体（1）

- USB ケーブル（1）

- AC パワーアダプター（HDAC-M1）（1）

- 電源コード（1）

- キャリングケース（1）
- ハンドストラップ（1）
- 取扱説明書（本書）
- はじめにお読みください（1）
- PhotoDiary ソフトウェア（ハードディスクに内蔵）
- 保証書（1）
- カスタマー登録のお願い（1）

各部のなまえとはたらき

1 白黒液晶画面(19 ページ)

本機の状態を示すメッセージとアイコン(内蔵バッテリー残量、AC パワーアダプター、コンパクトフラッシュ/ マイクロドライブ、“メモリースティック”、内蔵ハードディスク容量)を表示します。

2 CANCEL(キャンセル)ボタン(34 ページ)

コピーを途中で中止したり、ハードディスクの残量を確認します。

3 COPY(コピー)ボタン(33 ページ)

“メモリースティック” やコンパクトフラッシュカードから内蔵ハードディスクにデータをコピーします。
コピー可能時には、白黒液晶画面に「コピー準備 OK」と表示されます。

4 (USB)端子(35 ページ)

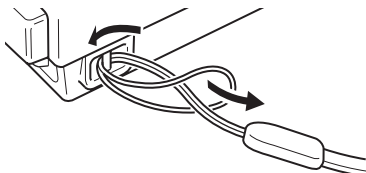
付属の USB ケーブルをつなぎます。

5 端子カバー(20 ページ)

6 (DC 入力)端子(22 ページ)

付属の AC パワーアダプターをつなぎます。

7 ハンドストラップ取付部

ハンドストラップの取り付けかた

8 イジェクトボタン(31 ページ)

コンパクトフラッシュカードを取り出します。

9 コンパクトフラッシュスロット(30 ページ)

コンパクトフラッシュカードを入れます。

10 スロットカバー(20 ページ)

11 "メモリースティック"スロット(28 ページ)

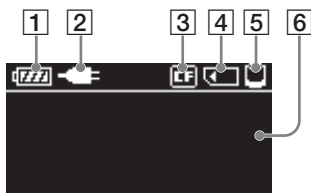
"メモリースティック"を入れます。

12 HOLD(ホールド)スイッチ(20 ページ)

本機を持ち運ぶときに誤ってボタンを操作しないように、ボタンをロックします。

13 ①(電源)ボタン(32 ページ)

電源を入／切します。

白黒液晶画面上の表示

1 内蔵バッテリー残量表示

2 AC パワーアダプター表示

3 コンパクトフラッシュ/ マイクロドライブ表示

4 "メモリースティック"表示

5 内蔵ハードディスク容量表示

6 メッセージ表示部

ボタンをロックするには

本機を持ち運ぶときに誤ってボタンを操作しないように、ボタンをロックできます。

ロックするには、HOLD（ホールド）スイッチを矢印の方向にスライドさせてください。

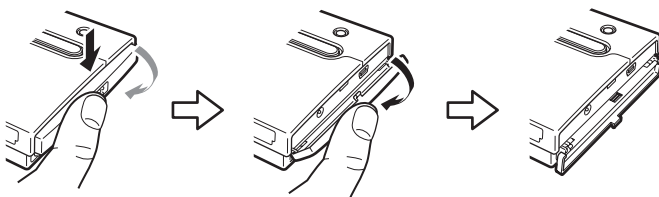
ロックを解除するには

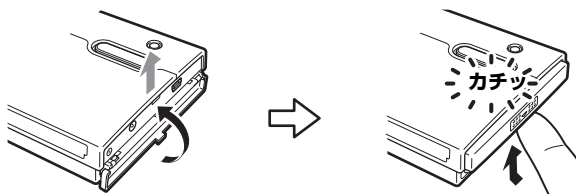
HOLD（ホールド）スイッチを矢印と反対の方向にスライドさせると、ロックが解除されます。

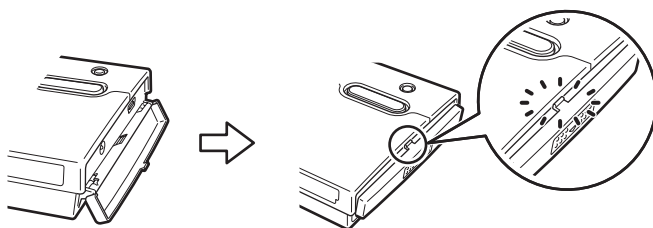
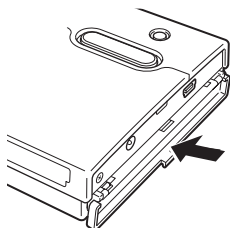
カバーの開けかた／閉めかた

端子カバー、スロットカバーとも、開けかた／閉めかたは同じです。

カバーを開けるには

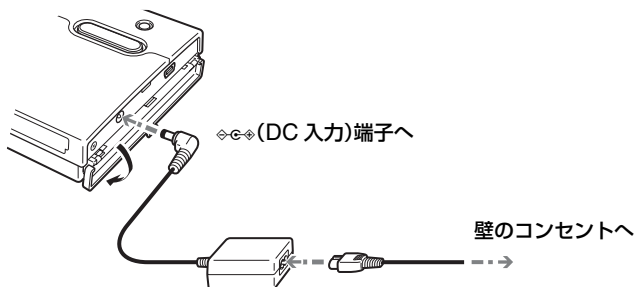
図のようにして、カバーの上側を軽く押し下げると、カバーが開きます。

カバーを閉めるには

カバーのツメが完全に本機の中に入るようにして閉じ、カチッと音がするまで押し上げます。カチッと音がすると、完全にカバーが閉じた状態になります。

ご注意

- 使わないときは、カバーを閉じておいてください。
- 図のように、ツメがきちんと本機の中に入っていないと、カバーを閉じることはできません。

その場合は、図のように、カバーの中央を押していったん開き、再度閉め直してください。

電源を準備する

本機は、内蔵バッテリーまたは付属の AC パワーアダプターでお使いいただけます。

バッテリーを充電する

AC パワーアダプターをつながずに本機を使用するときは、あらかじめ本機の内蔵バッテリーを充電しておく必要があります。
本機の内蔵バッテリーを充電するには、次のように付属の AC パワーアダプターを本機につなぎます。

本機に AC パワーアダプターをつなぐと、自動的にバッテリーの充電が開始します。充電を開始すると、充電中を示すアイコンが白黒液晶画面に表示されます。充電が完了すると、「充電完了」と表示された後、表示が消えます。
充電が完了するまで、およそ 4 時間かかります（常温使用時）。

充電中　　充電完了

満充電を確認する

充電完了後、AC パワーアダプターをつないだまま電源を入れ、アイコンが表示されていることを確認してください。

ヒント

- AC パワーアダプターが接続されていれば、本機を使用中でも充電が行われます。ただし、充電が完了するまで 4 時間以上かかる場合があります。
- 本機を長期間充電しなかった場合は、バッテリーが消耗していることがあります。この場合は、電源を入れても白黒液晶画面にバッテリーアイコンが表示されません。

この場合は、AC パワーアダプターを接続し、満充電になるまで充電してください。充電が完了するまで AC パワーアダプターは抜かないでください。

ご注意

- 必ず付属の AC パワーアダプターをご使用ください。付属の AC パワーアダプター以外は使用できません。
- 10 ℃以下でお使いになる場合は、バッテリーの使用時間が著しく短くなります（低温度環境では動作保証いたしません）。必ず AC パワーアダプターを使用してください。
- バッテリーの性能を保つため、定期的に AC パワーアダプターをつないで満充電になるまで充電してください。

バッテリー残量について

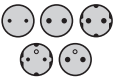
バッテリーの残量は、白黒液晶画面に表示されます。バッテリーの残量に従って、アイコンが変化します。

アイコン	バッテリー残量	意味
	75% ～ 100%	AC パワーアダプターを使わなくても充分に動作します。
	50% ～ 75%	
	25% ～ 50%	バッテリーの残量が少なくなっていますが、数枚のメディアはコピーできます。
	10% ～ 25%	
	0% ～ 10%	AC パワーアダプターをつないで充電してください。

ご注意

バッテリー残量の数値はおおよその目安です。実際のバッテリー残量は、使用環境、充電回数などにより異なる場合があります。

AC パワーアダプターで使う

内蔵バッテリーの残量を気にせずに、本機をお使いいただけます。
「バッテリーを充電する」（22 ページ）と同じ方法で、本機に AC パワーアダプターをつなぎます。

パワーセーブ機能について

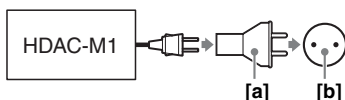
本機を単体で使っているときは、5 分間何も操作しないでいると、AC パワーアダプターがつながっていても、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

海外で使うときは

海外のコンセントの種類

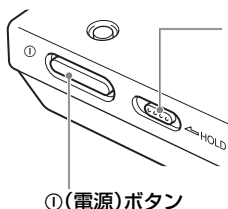
壁のコンセントの形状例	変換プラグアダプター
主に北米など	不要です。
主にヨーロッパなど	

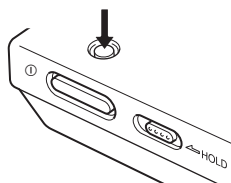
本機は海外でもお使いになれます。

- 付属の AC アダプター HDAC-M1 は全世界の電源（AC100 V ～ 240 V・50/60 Hz）でお使いいただけます。
- 下図のように、付属の AC アダプターを差し込む変換プラグアダプター［**a**］が必要になる場合があります。

- 変換プラグアダプター［**a**］／電源コンセント［**b**］の形状は旅行先の国や地域によって異なります。あらかじめ、旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となります。

表示言語を設定する

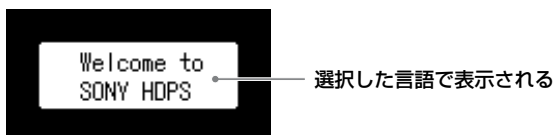
メニューやメッセージの表示言語を変更できます。

1 **本機の電源を入れる。**
①(電源)ボタンを押します。
白黒液晶画面に「SONY HDPS」と表示されます。

メディアが入っていないときは、起動画面が表示された後、内蔵ハードディスクの空き容量が表示されます。

2 **この状態で、言語の選択画面が表示されるまで、CANCEL(キャンセル)ボタンを押し続ける。**

3 **CANCEL(キャンセル)ボタンを押して、表示されている言語名をスクロールさせる。**

4 **COPY(コピー)ボタンを押して、言語を選択する。確認のために、もう一度 COPY(コピー)ボタンを押す。**

設定が有効になり、本機の電源が切れます。

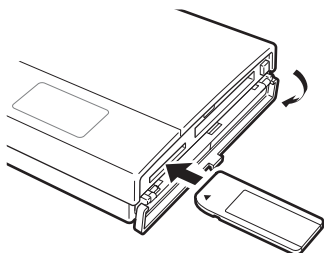
5 **メニューやメッセージを選択した言語で表示するには、再度電源を入れる。**

“メモリースティック”を入れる／取り出す

本機の“メモリースティック”スロットは、標準サイズの“メモリースティック”と小型の“メモリースティック デュオ”の両方に対応しています。本機には、挿入された“メモリースティック”のサイズを自動的に判別する機能があります。本機では、メモリースティック デュオアダプターなしでご使用いただけます。

ヒント

スロットカバーの開けかた／閉めかたは、「カバーの開けかた／閉めかた」（20 ページ）をご覧ください。

“メモリースティック”を入れる

“メモリースティック”を図の向きで「カチッ」と音がするまで差し込む。

ラベル面を上にして、▲ 印の方向にカチッと音がするまで差し込む

本機の電源が入っているときは、“メモリースティック”が認識されると、白黒液晶画面に“メモリースティック”のアイコンが表示されます。

ご注意

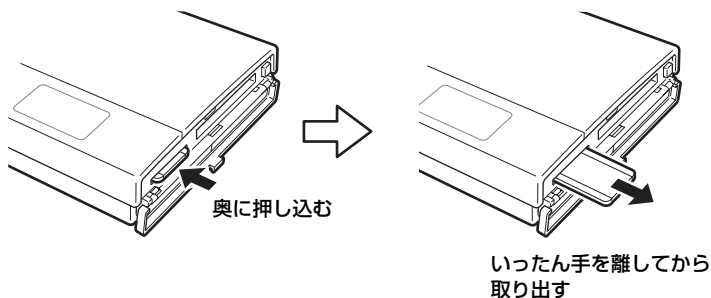
- 複数の“メモリースティック”を挿入しないでください。機器の破損の原因となる場合があります。
- ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。

“メモリースティック”を取り出す

ご注意

コピー中は、絶対に“メモリースティック”を取り出さないでください。
データが壊れることがあります。

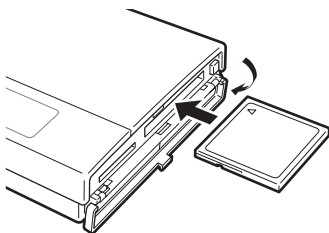
“メモリースティック”を奥に押し込んでから、いったん手を離し、“メモリースティック”を取り出す。

奥に押し込んでから手を離すと、“メモリースティック”が少し出てきます。

コンパクトフラッシュカードを入れる／取り出す

ヒント

スロットカバーの開けかた／閉めかたは、「カバーの開けかた／閉めかた」（20 ページ）をご覧ください。

コンパクトフラッシュカードを入れる

コンパクトフラッシュカードを図の向きで奥まで差し込む。

ラベル面を上にして、▲ 印の方向に奥まで差し込む

本機の電源が入っているときは、コンパクトフラッシュカードが認識されると、白黒液晶画面にコンパクトフラッシュ/ マイクロドライブのアイコンが表示されます。

ご注意

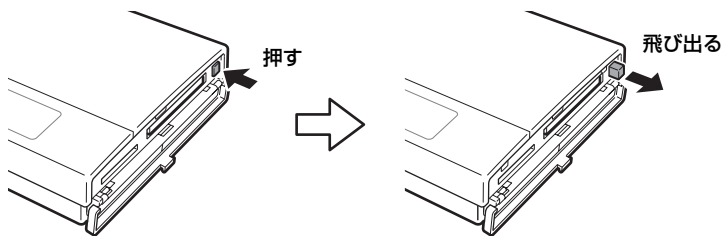
ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。

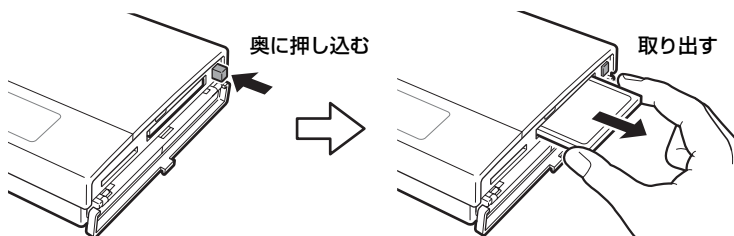
コンパクトフラッシュカードを取り出す

ご注意

コピー中は、絶対にコンパクトフラッシュカードを取り出さないでください。データが壊れることがあります。

1 イジェクトボタンを押す。

イジェクトボタンが飛び出します。

2 イジェクトボタンを奥に押し込んでから、いったん手を離し、コンパクトフラッシュカードを取り出す。

奥に押し込んでから手を離すと、コンパクトフラッシュカードが少し出てきます。

ご注意

イジェクトボタンが出ているときは、スロットカバーを閉めないでください。

本機にデータをコピーする

ここでは、本機のCOPY（コピー）ボタンを使って、“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードのデータを本機の内蔵ハードディスクにコピーする方法を説明します。

ヒント

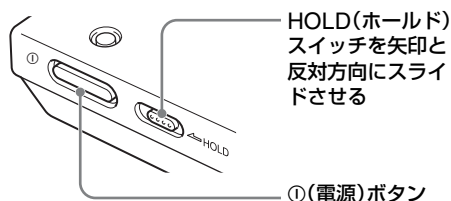
パソコンにつないでコピーする方法については「パソコンとつないで使う」（35ページ）をご覧ください。

ご注意

- お使いの“メモリースティック”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み／書き込み速度が異なります。
- 他機でアクセスコントロールをかけられている“メモリースティック”のデータは、本機では読み書きできません。本機でデータの読み書きをするには、アクセスコントロールをかけた機器で解除してください。
- マジックゲート対応のデータは、本機にコピーされますが、使用することはできません（再生できません）。また、本機にコピーされたマジックゲート対応のデータを“メモリースティック”に戻すこともできません。

1 本機の電源を入れる。

①（電源）ボタンを押します。

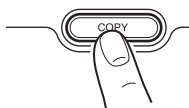
白黒液晶画面に「SONY HDPS」と表示されます。

メディアが入っていないときは、起動画面が表示された後、内蔵ハードディスクの空き容量が表示されます。

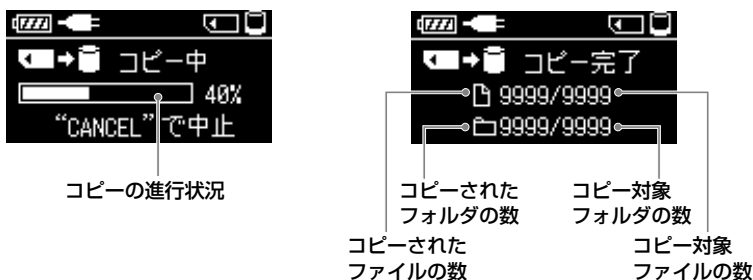
2 **“メモリースティック”またはコンパクトフラッシュカードを本機に入れる。**

白黒液晶画面に「コピー準備 OK」と表示されます。

ご注意

エラーが起きたときは、白黒液晶画面にエラーメッセージが表示されます。詳しくは、「エラーメッセージ」（63 ページ）をご覧ください。

3 **COPY（コピー）ボタンを押す。**

内蔵ハードディスクに自動的にフォルダが作成され、データがコピーされます。

コピーの進行状況は、白黒液晶画面で確認できます。コピーが終わると、「コピー完了」と表示されます。

ご注意

「HDD 空き容量不足」というメッセージが表示された場合は、本機の内蔵ハードディスクの空き容量が足りません。パソコンにつないで、パソコン上で不要なデータを削除してください。詳しくは、「不要なファイルやフォルダを削除するには」（51 ページ）をご覧ください。

ヒント

途中でコピーを中止したいときは、CANCEL（キャンセル）ボタンを押します。白黒液晶画面に「コピー停止中」と表示され、コピーが中断されます。コピーを中止する場合は、もう一度 CANCEL（キャンセル）ボタンを押します。コピーを続ける場合は、COPY（コピー）ボタンを押します。途中でコピーを中止しても、内蔵ハードディスク内にフォルダが作成され、内蔵ハードディスクの空き容量が少なくなります。

内蔵ハードディスクの残量を確認するには

内蔵ハードディスクの空き容量は、本機にメディアが挿入されていないときに、白黒液晶画面に表示されます。

内蔵ハードディスクの使用量は以下のように表示されます。

アイコン	使用量
	0
	1 ～ 5 GB
	6 ～ 10 GB
	11 ～ 15 GB
	16 ～ 20 GB

アイコン	使用量
	21 ～ 25 GB
	26 ～ 30 GB
	31 ～ 35 GB
	36 ～ 40 GB

電源を切るには

⏽（電源）ボタンを押します。電源が切れると、白黒液晶画面の表示も消えます。ただし、AC パワーアダプターをつないで充電しているときは、充電中を示すアイコンが表示されます。

本機とパソコンを準備する

本機とパソコンを USB ケーブルでつなぎ、本機とパソコンでデータをやり取りするための準備をします。

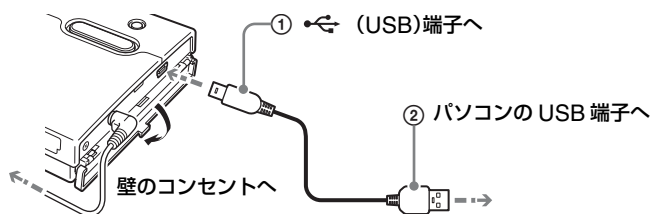
ヒント

- パソコンにつないでお使いになる場合は、“メモリースティック”とコンパクトフラッシュカードを、一緒に入れてデータのやり取りができます。
- 本機を初めてパソコンにつないだときは、必要なドライバソフトウェアが自動的にインストールされます。

1 パソコンの電源を入れる。

2 本機の電源を入れる。

(電源)ボタンを押します。
白黒液晶画面に「SONY HDPS」と表示されます。

3 本機右側の端子カバーを開け、付属の USB ケーブルを本機の (USB)端子につなぎ、もう一方をパソコンの USB 端子につなぐ。

ご注意

USB ハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。本機とパソコンを直接接続してください。

本機とパソコンをつなぐと、白黒液晶画面には次のように表示されます。

4 必要に応じて、本機に“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードを入れる。

ヒント

バッテリーの性能を保つために、定期的に AC パワーアダプターをつないで満充電になるまで充電してください。

パソコンにデータをコピーする

本機をUSBケーブルでパソコンにつなぐと、本機の内蔵ハードディスクや“メモリースティック”、コンパクトフラッシュカードのデータをパソコンから操作できるようになります。

ここでは例として、本機のデータをパソコンの［マイドキュメント］フォルダにコピーする手順を説明します（Windowsをお使いの場合）。
パソコンのデータを本機にコピーするときも同様の手順で行えます。

ご注意

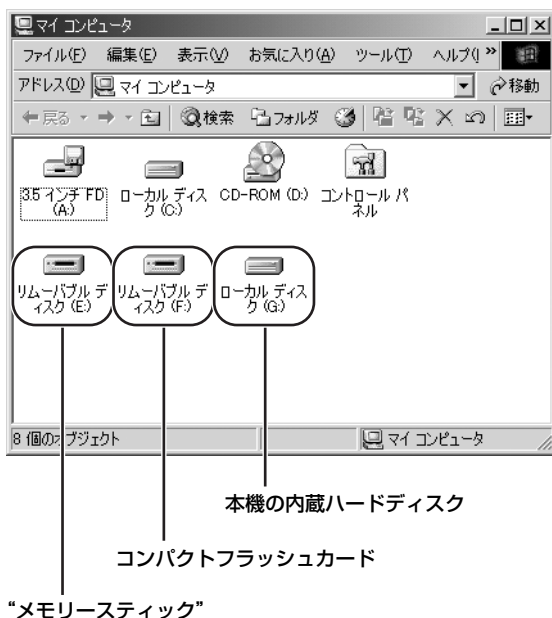
本機をUSBケーブルでパソコンにつないでいるときは、本機のCOPY（コピー）ボタンとCANCEL（キャンセル）ボタンは使用できません。

Windows 2000/Windows Meをお使いの場合

1 **[マイコンピュータ]をダブルクリックする。**

「マイコンピュータ」画面が表示されます。

「マイコンピュータ」には、“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカード、本機の内蔵ハードディスクが次のように表示されます。

ヒント

- “メモリースティック” やコンパクトフラッシュカードはリムーバブルディスクとして、本機の内蔵ハードディスクはローカルディスクとして表示されます。なお、表示されるドライブ文字（「G:」など）は、お使いのパソコンによって異なります。
- リムーバブルディスクや本機の内蔵ハードディスクが表示されないときは、「本機のドライブがパソコンに表示されないときは」（41 ページ）をご覧ください。

2 [ローカルディスク(G:)]をダブルクリックする。

本機の内蔵ハードディスク内の内容が表示されます。

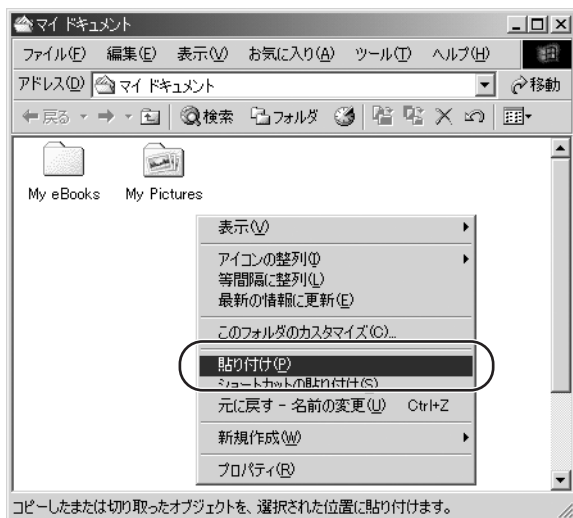
3 [STORE.IPS]をダブルクリックする。

本機の内蔵ハードディスクに保存されているフォルダやファイルが表示されます。フォルダ名について詳しくは、「データの保存先とフォルダ名」(50ページ)をご覧ください。

4 パソコンにコピーしたいファイルが入っているフォルダをダブルクリックする。

5 ファイルを右クリックしてメニューを出し、[コピー]を選ぶ。

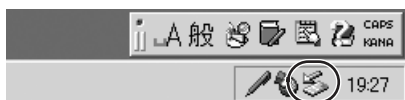
6 [マイドキュメント]フォルダをダブルクリックする。

7 右クリックでメニューを出し、[貼り付け]を選ぶ。

「マイドキュメント」フォルダにファイルがコピーされます。

コピー先に同じファイル名のファイルがあるときは

元の画像を上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルデータは消えます。
画像ファイルを上書きしないでパソコンにコピーする場合は、ファイル名を希望の名称に変更します。

パソコンから USB ケーブルを抜くときや、本機からメディアを取り出すときは

1 タスクトレイの をクリックする。

2 [USB大容量記憶デバイス - ドライブ(X:)を停止します]をクリックする。

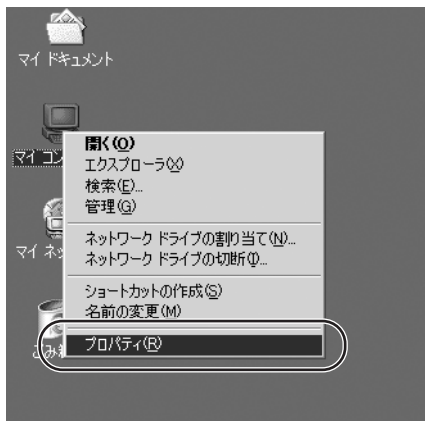
3 取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリックする。

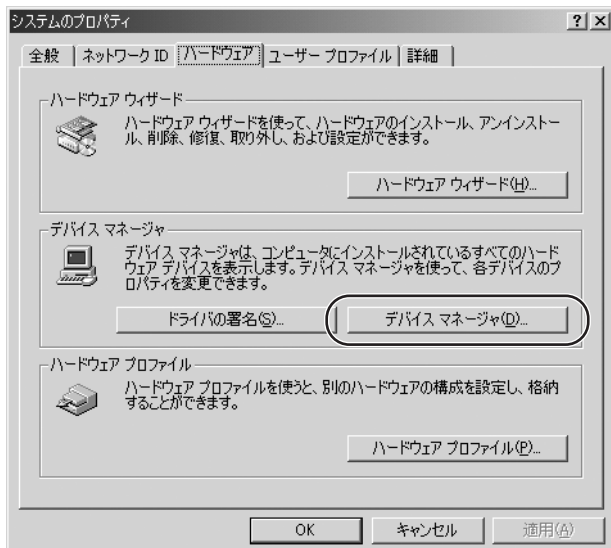
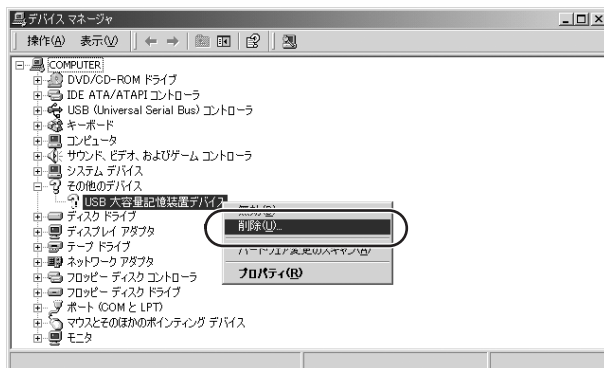
4 [OK]をクリックする。

5 USB ケーブルを抜く。
“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードを取り出す。

本機のドライブがパソコンに表示されないときは

Windows 2000 の場合

1 [マイコンピュータ]を右クリックしてメニューを出し、[プロパティ]をクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

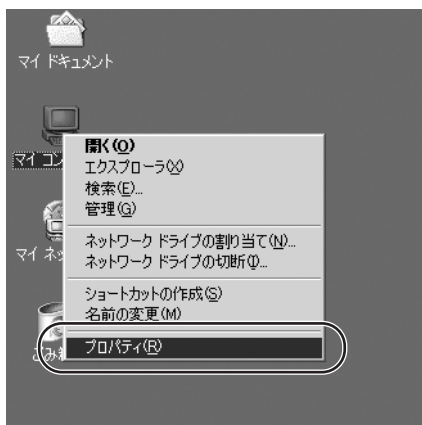
2 [デバイスマネージャ]をクリックする。

3 マークの付いた「USB 大容量記憶装置デバイス」がないか確認し、表示されていたら右クリックしてメニューを出し、[削除]をクリックする。

「デバイス削除の確認」画面が表示されます。

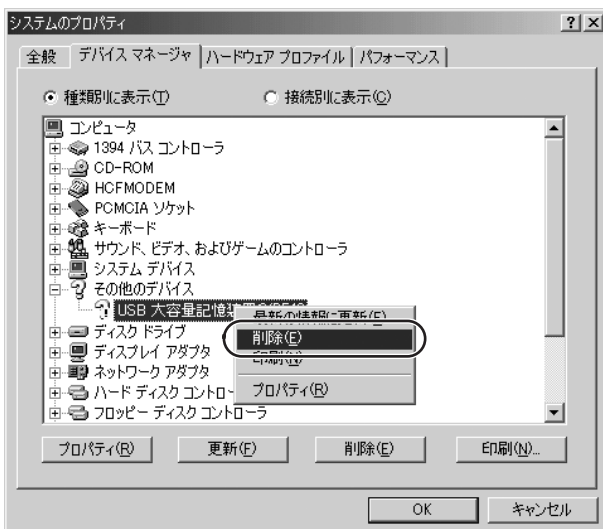
4 [OK]をクリックする。

デバイスが削除されます。

デバイスを削除したら、いったん USB ケーブルを抜き、つなぎ直してください。

Windows Me の場合

1 [マイコンピュータ]を右クリックしてメニューを出し、[プロパティ]をクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

2 マークの付いた「USB 大容量記憶装置デバイス」がないか確認し、表示されていたら右クリックしてメニューを出し、[削除] をクリックする。

「デバイス削除の確認」画面が表示されます。

3 [OK] をクリックする。

デバイスが削除されます。

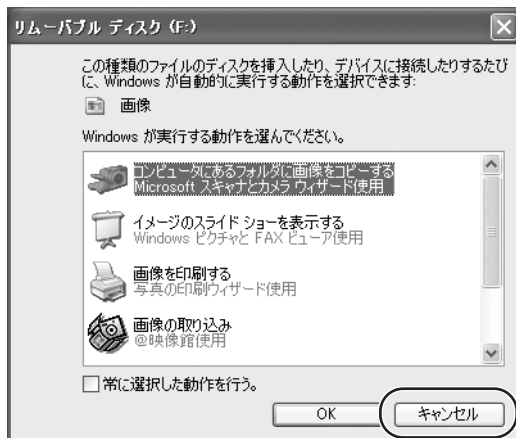
デバイスを削除したら、いったん USB ケーブルを抜き、つなぎ直してください。

ヒント

上記の操作をしてもドライブが表示されない場合は、パソコンを再起動して操作をやり直してください。

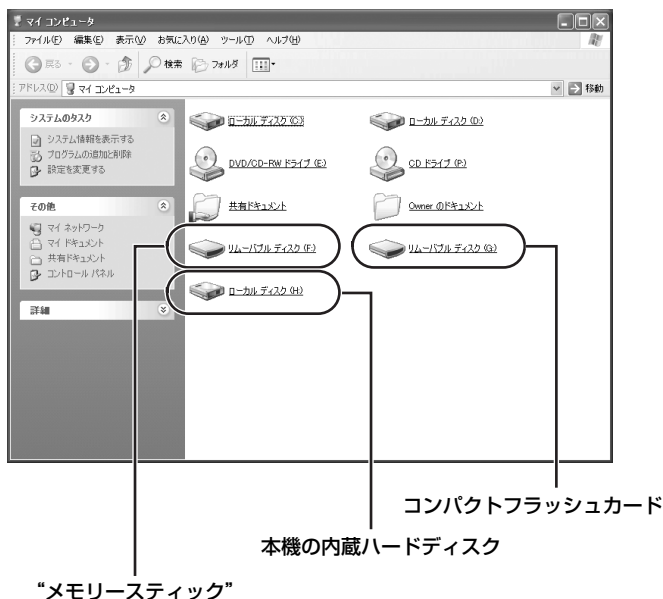
Windows XP をお使いの場合

Windows XP のパソコンに USB ケーブルで本機をつなげると、自動再生ウィザードが表示されます。

1 [キャンセル]をクリックする。

2 [スタート]→[マイコンピュータ]をクリックする。

「マイコンピュータ」画面が表示されます。

「マイコンピュータ」には、“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカード、本機の内蔵ハードディスクが次のように表示されます。

ヒント

“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードはリムーバブルディスクとして、本機の内蔵ハードディスクはローカルディスクとして表示されます。なお、表示されるドライブ文字（「F:」など）は、お使いのパソコンによって異なります。

3 [ローカルディスク(H:)]をダブルクリックする。

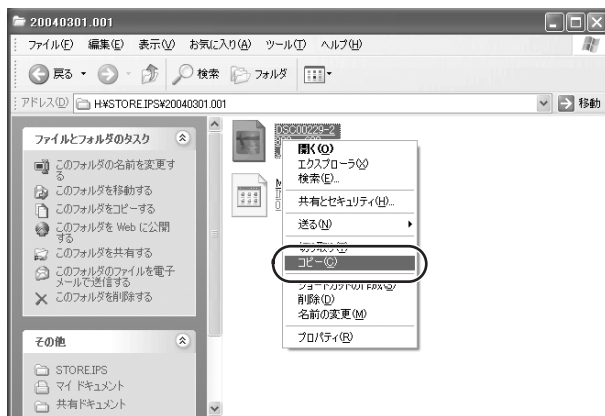
本機の内蔵ハードディスク内の内容が表示されます。

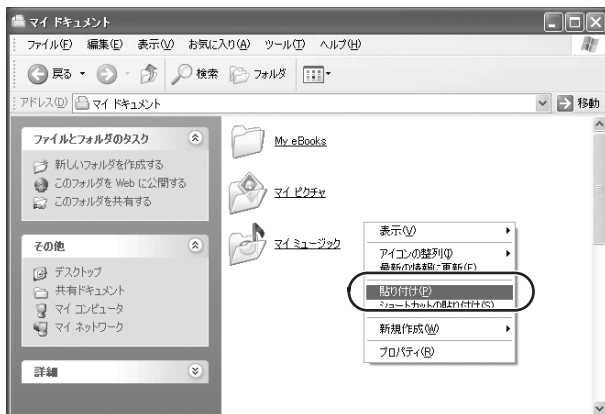
4 **[STORE.IPS]をダブルクリックする。**

新しくフォルダを作成していない場合は、「STORE.IPS」フォルダのみ表示されます。

本機の内蔵ハードディスクに保存されているフォルダやファイルが表示されます。フォルダ名について詳しくは、「データの保存先とフォルダ名」(50ページ)をご覧ください。

5 **パソコンにコピーしたいファイルが入っているフォルダをダブルクリックする。**

6 **ファイルを右クリックしてメニューを出し、[コピー]を選ぶ。**

7 **[マイドキュメント]フォルダをダブルクリックする。**

8 **右クリックでメニューを出し、[貼り付け]を選ぶ。**

「マイドキュメント」フォルダにファイルがコピーされます。

コピー先に同じファイル名のファイルがあるときは

元の画像を上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルデータは消えます。
画像ファイルを上書きしないでパソコンにコピーする場合は、ファイル名を希望の名称に変更します。

パソコンからUSBケーブルを抜くときや、本機からメディアを取り出すときは

1 **タスクトレイの をクリックする。**

2 **[USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ(X:)を安全に取り外します]をクリックする。**

3 **取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリックする。**

4 **USBケーブルを抜く。**

"メモリースティック"やコンパクトフラッシュカードを取り出す。

本機のドライブがパソコンに表示されないときは

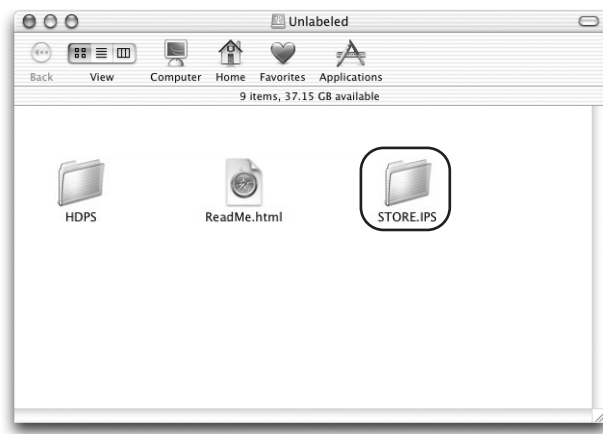
本機のドライブがパソコンに表示されないときは、「Windows 2000 の場合」（41 ページ）の操作を行ってください。

Macintosh をお使いの場合

Macintosh に USB ケーブルで本機をつなげると、デスクトップに本機の内蔵ハードディスクやメディアのアイコンが新たに表示されます（メディアのアイコンは、本機に“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードを入れると表示されます）。

1 **デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコンをダブルクリックする。**

ダブルクリックしたドライブの内容が表示されます。

2 [STORE.IPS]をダブルクリックする。

本機の内蔵ハードディスクに保存されているフォルダやファイルが表示されます。フォルダ名について詳しくは、「データの保存先とフォルダ名」(50ページ)をご覧ください。

3 **コピーしたいファイルが入っているフォルダをダブルクリックする。**

4 **ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする。**
ハードディスクにファイルがコピーされます。

本機からメディアを取り出すときは

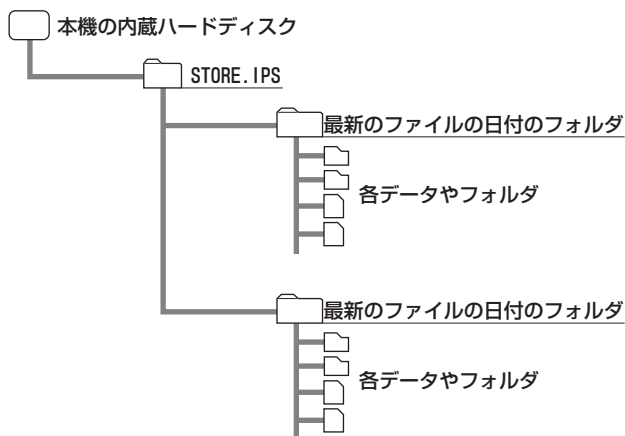
"メモリースティック" やコンパクトフラッシュカードのアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップします。

パソコンから USB ケーブルを抜くときは

1 **すべてのメディアアイコンと本機の内蔵ハードディスクのアイコンを、ゴミ箱にドラッグ＆ドロップする。**

2 USB ケーブルを抜く。

データの保存先とフォルダ名

本機の内蔵ハードディスク内にコピーされたデータは、次のようにまとめられています。

ヒント

- データがコピーされると、メディア内の最新のファイルの日付と同じ名前がついたフォルダが自動的に作成され、その中にデータが格納されます。例えば、コピーしたファイルの中で、2005 年 3 月 1 日のファイルが最新の場合は、「20050301.001」というフォルダが作成されます。すでに本機の内蔵ハードディスク内に同じ名前のフォルダがある場合は、拡張子が「.002」「.003」～と、連番で繰り上がります。
- 日付のないファイルをコピーした場合は、「19800000.001」というフォルダが作成されます。

不要なファイルやフォルダを削除するには

Windows をお使いの場合

削除したいファイルやフォルダを右クリックしてメニューを出し、［削除］を選びます。または、削除したファイルやフォルダをごみ箱にドラッグ＆ドロップします。
内蔵ハードディスクの空き容量を増やすには、ごみ箱を右クリックしてメニューを出し、［ごみ箱を空にする］を選びます。
デバイスを停止させたり、本機をパソコンから取り外すときは、「パソコンから USB ケーブルを抜くときや、本機からメディアを取り出すときは」（47 ページ）の操作を行ってください。削除処理中に、本機を取り外すことを防げます。

Macintosh をお使いの場合

削除したいファイルやフォルダをゴミ箱にドラッグ＆ドロップします。
内蔵ハードディスクの空き容量を増やすには、ごみ箱を空にします。
デバイスを停止させたり、本機をパソコンから取り外すときは、「本機からメディアを取り出すときは」（49 ページ）および「パソコンから USB ケーブルを抜くときは」（49 ページ）の操作を行ってください。削除処理中に、本機を取り外すことを防げます。

ヒント

上記の操作をしなかった場合は、ファイルやフォルダを削除しても白黒液晶画面に表示される内蔵ハードディスクの残り容量が変わらないことがあります。

- ごみ箱が空になっていない場合、削除したファイルやフォルダはハードディスク内に残っています。そのため、白黒液晶画面に表示されるハードディスクの残り容量は、削除前と変わりません。
- 削除処理が完了する前に本機をパソコンから取り外した場合は、白黒液晶画面に表示される値が誤っていることがあります。正しい値を表示するには、Windows XP のパソコンに本機をつなぎ、チェックディスクを実行します。

Windows XP でチェックディスクを実行するには

1 **［スタート］→［マイコンピュータ］をクリックする。本機の内蔵ハードディスクを右クリックし、［プロパティ］を選ぶ。**

2 **［ツール］タブをクリックする。**

3 [エラーチェック]の[チェックする]ボタンをクリックする。ダイアログボックスで[ファイル システム エラーを自動的に修復する]を選択して、[開始]ボタンをクリックする。

4 チェックが終わったら、パソコンから内蔵ハードディスクへファイルをコピーする。

ファイルシステムのエラーが修復されます。

外付けハードディスクドライブまたはリーダー／ライターとして使う

本機は、USB 接続型の外付けハードディスクとして使用し、データを保存したり持ち出すためのメディアとして使用することができます。また、本機を“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードのリーダー／ライターとして利用することもできます。

ご注意

- 本機をハードディスクとして使用した場合、データを記録した分だけ、“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードからコピーするための空き容量が少なくなります。“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードからのコピーに必要な空き容量がなくなったときは、不要なデータを削除する必要があります。
- WindowsやMacintoshで本機の内蔵ハードディスクをフォーマットしないでください。特に Windows で NTFS フォーマットにした場合は、本機を使用できなくなります。また、本機の内蔵ハードディスクをいくつかのパーテーションで仕切る場合は、必ず第 1 フォーマットは FAT32 にしてください。
- 本機の内蔵ハードディスクをパソコンでフォーマットしたり、NTFS フォーマットにした場合は、パソコンと接続せずに電源を入れると HDD フォーマットエラー（エラーコード：F20）が白黒液晶画面に表示されます。HDD フォーマットエラーが表示された場合は、内蔵ハードディスクを再フォーマットしてください。詳しくは、「HDD フォーマットエラー（エラーコード：F20）が表示された場合」（66 ページ）をご覧ください。
- “メモリースティック”やコンパクトフラッシュカード内のデータをパソコンで加工したり、フォルダやファイルの名前を変更すると、デジタルカメラで再生できなくなる場合があります。

ヒント

本機をパソコンにつなぐと、本機とパソコン間でデータの受け渡しをするだけでなく、“メモリースティック”とコンパクトフラッシュカード間でデータの受け渡しをすることもできます。

“メモリースティック”のフォーマット時のご注意

Windows をお使いの場合に、“メモリースティック”をフォーマットするときは、下記の URL より Memory Stick Formatter（メモリースティックフォーマッタ）をダウンロードしてご使用ください。

http://www.sony.co.jp/Products/mssupport/download/down.html

故障かな？と思ったら

お客様ご相談センターにご相談になる前に下記の項目をもう一度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときは、お客様ご相談センターにご相談ください。また、お使いのパソコン本体に付属の取扱説明書または電子マニュアルもあわせてご覧ください。

ヒント

内蔵バッテリーの充電が必要なときや、本機を使用中にエラーが発生したときは、本機の状態を知らせるメッセージが白黒液晶画面に表示されます。
メッセージについて詳しくは、「エラーメッセージ」（63 ページ）をご覧ください。

バッテリー・電源

症状	原因／対策
電源が入らない。	➔ 内蔵バッテリーの残量がなくなっている可能性があります。AC パワーアダプターを接続し、内蔵バッテリーを充電してください。（22 ページ）
すぐに電源が切れる。	➔ 内蔵バッテリーは充電後、使用してない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、使用可能時間が短くなる場合があります。使用前には、再度、満充電まで充電することをおすすめします（22 ページ）。 ➔ 出荷時の内蔵バッテリーは完全には充電されていないため、初めてお使いになるときから内蔵バッテリーが消耗している状態になっていることがあります。 ➔ 内蔵バッテリーを低温環境で使用していると、使用可能時間が短くなる場合があります。（23 ページ） ➔ 内蔵バッテリーは、充電回数、使用時間、保存期間に伴い、少しずつ性能が劣化していきます。このため、充分に充電を行っても使用可能時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。この場合には、新しい内蔵バッテリーに交換してください。内蔵バッテリーの交換についてはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

症状	原因／対策
突然電源が切れる。	➔ 本機を単体で使っているときは、5 分間何も操作しないでいると、AC パワーアダプターがつながっていても、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。（24 ページ）
電源を入れても、白黒液晶画面にバッテリーアイコンが表示されない。	➔ AC パワーアダプターを接続し、満充電になるまで充電してください。（22 ページ）
本機がハングアップ状態になり、反応がない。	➔ しばらく待って状態が変わらない場合は、COPY（コピー）ボタンと CANCEL（キャンセル）ボタンを押しながら、①（電源）ボタンを押して、本機をリセットしてください。データのコピー中にリセットした場合は、データが正しくコピーされないことがあります。コピー操作をやり直してください。

本機にデータをコピーする

症状	原因／対策
コピーできない。	➔ “メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードが正しく入っていて、本機に認識されているか確認してください。メディアが本機に認識されているときは、白黒液晶画面に「コピー準備 OK」と表示されます。 ➔ “メモリースティック”とコンパクトフラッシュカードの両方が入っていないか確認してください。入っている場合は、どちらかのメディアを取り出してください。 ➔ 本機の内蔵ハードディスクの空き容量が少なくなっていないか、確認してください。空き容量が少なくなっている場合は、不要データを削除してください。（51 ページ） ➔ バッテリーが充分残っているか確認してください。（24 ページ） ➔ ボタンがロックされていないか確認してください。ロックされているときは、HOLD（ホールド）スイッチをスライドしてロックを解除してください。（20 ページ）
白黒液晶画面に HDD フォーマットエラー（エラーコード：F20）が表示される。	➔ 内蔵ハードディスクを再フォーマットしてください。（66 ページ）

パソコンとつないで使う

症状	原因／対策
コピーできない。	➔ 本機とパソコンが正しくUSBケーブルでつながれているか確認してください。正しくつながれている場合は、本機のドライブがパソコンに表示されます。（35 ページ）
COPY（コピー）ボタンが使えない。	➔ パソコンとつないでいるときは、COPY（コピー）ボタンは使えません。
パソコンのデータを“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードにコピーできない。	➔ “メモリースティック”が書き込み禁止になっていないか確認してください。 ➔ “メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードの空き容量が少なくなっていないか、フォーマットされているか確認してください。

使用上のご注意

使用・保管場所について

- データの読み書き中に外部から衝撃を与えないでください。
- 必ず付属のACパワーアダプターをお使いください。
- 端子をキーホルダーなどの金属類でショート（短絡）させないでください。
- 高温になった車の中や炎天下など、60 ℃以上になるところに放置しないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 不安定な場所で使用しないでください。
- 本機を持ち運ぶときは、必ず電源を切ってください。

本機の発熱について

本機が普段よりも異常に熱くなったときは、電源を切って、AC パワーアダプターを取りはずしてください。次に、お客様ご相談センターに修理をご依頼ください。

結露について

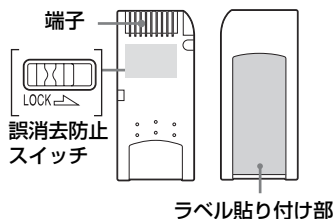
結露とは本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴がつくことで、そのままご使用になると故障の原因となります。結露が起きたときは、電源を入れずに約 1 時間放置してください。

ハードディスクについてのご注意

- データの読み書き中にケーブルを抜いたり、パソコンや本機の電源を切らないでください。データが破損したり、消去されることがあります。
  データが破損したり、消去されたことによる損害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
  データの損失については、一切責任を負いかねます。

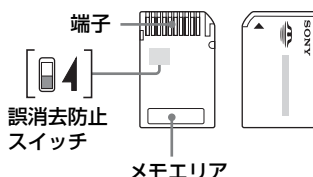
“メモリースティック”についてのご注意

“メモリースティック”使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができません。

誤消去防止スイッチの位置や形状は、お使いの“メモリースティック”によって異なることがあります。

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようにご注意ください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

“メモリースティック　デュオ”使用上のご注意

- “メモリースティック　デュオ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いものでので動かしてください。
- “メモリースティック　デュオ”のメモエリアに書きこむときは、あまり強い圧力をかけないでください。

メモリーセレクト機能に関するご注意

- 各メモリーを同時に、また連続でご使用することはできません。
- 本機の“メモリースティック”スロットに挿入した状態で、メモリーセレクトスイッチを切り替えると、故障の原因になりますので、決して行わないでください。万一上記の操作を行い故障した場合の保証は致しかねます。
- メモリーセレクトスイッチを切り替える際は、確実にスイッチを端まで移動させてください。切り替えが不十分な場合、故障、誤動作の原因となります。
- 本機の“メモリースティック”スロットに挿入する前に、ご使用になるメモリーが選択されていることをご確認ください。

- メモリーセレクト機能付“メモリースティック”では、“メモリースティック”内部のメモリーを切り替えスイッチにより選択してご使用いただけます。対応機器では、選択されているメモリーのみを認識しますので、下記のような場合にご注意ください。
  – フォーマット（初期化）処理は選択されたメモリーのみに行われます。
  – 残容量表示は選択されたメモリーのみの残容量です。
  – エラー表示は選択されたメモリーに対してのエラー表示です。
  それぞれ選択されていないメモリーとは独立で扱われます。

お手入れ

キャビネットの汚れは

柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

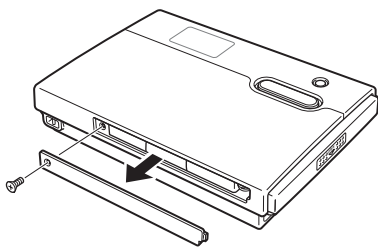
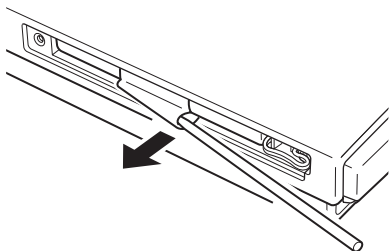
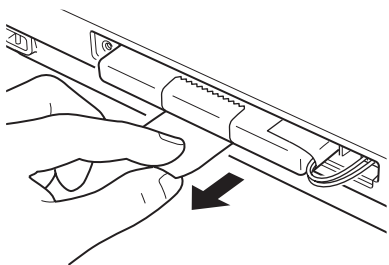
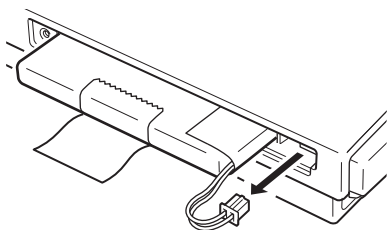
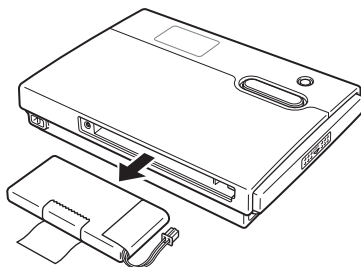
本機を廃棄するときのご注意

本機を廃棄する場合は、下記の手順に従って内蔵バッテリーを取りはずしてください。
内蔵バッテリーの交換はお客様ご相談センターへお申し出ください。
内蔵バッテリー交換の場合は、内蔵バッテリーを取りはずしておく必要はありません。
本機に内蔵されたバッテリー以外をお使いになりますと危険ですので、おやめください。
本機を廃棄するとき以外は、本機側面および内蔵バッテリーを取りはずさないでください。

内蔵バッテリーの取りはずしかた

1 **ACパワーアダプターおよびUSBケーブルなどを、すべて本機から取りはずす。**

2 **プラス（＋）ドライバーで、本機側面のネジ（1か所）をはずす。**
内蔵バッテリーの側面にはシールが貼られています。

その他

3 図のようにして、細い棒のようなものを使ってテープを引き出す。

4 テープを引っ張って、内蔵バッテリーを取り出す。

5 内蔵バッテリーのケーブルを取りはずす。

6 内蔵バッテリーを取り出す。

ご注意

- 本機内部の温度が高くなっている場合があります。内蔵バッテリーの取りはずしは、充分に温度を下げてから行ってください。
- 内蔵バッテリーを取りはずしたときに、本機内部に異物が入らないようにご注意ください。
- 内蔵バッテリーを取りはずした後、再度本機に組み込まないでください。
- 使用後の内蔵バッテリーの廃棄は、その地域の規制に従ってください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内仕様です。保証書は国内に限られています。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店か、お客様ご相談センターにご連絡ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、HDD フォトストレージの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

お問い合わせになるときは次のことをお知らせください。

型名：HDPS-M10
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店

TEL.

This HDD Photo Storage is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

本体

記憶容量

40 GB（ハードディスク）
（FAT32 でフォーマット済／ 1 GB は 10 億バイトで計算しています。）

メディアスロット

“メモリースティック”スロット× 1
コンパクトフラッシュスロット× 1

対応メディア

13 ページをご覧ください。

インターフェース

USB 2.0（Hi-speed ／ Full-speed）*

* 接続されるパソコンが USB 2.0 に対応していない場合、USB Full-speed（12 Mbps）の転送速度となります。

外部接続

USB（mini-B）× 1

電源

リチウムイオン充電池（内蔵）
AC100-240 V、50 ／ 60 Hz

消費電力

7.5 W（最大）

環境条件

動作温度：5 ℃～ 40 ℃
（温度勾配 10 ℃／時以下）
動作湿度：20%～ 80%
（ただし結露しないこと）

本体外形寸法

約 135 mm × 30 mm × 92 mm
（幅×高さ×奥行き）

本体質量

約 300 g

付属品

AC パワーアダプター（HDAC-M1）（1）
キャリングケース（1）
ハンドストラップ（1）
取扱説明書（本書）
PhotoDiary ソフトウェア（ハードディスクに内蔵）
電源コード（1）
はじめにお読みください（1）
USB ケーブル（1）
保証書（1）
カスタマー登録のお願い（1）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

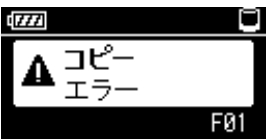
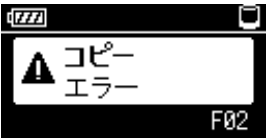
エラーメッセージ

エラーメッセージが白黒液晶画面に表示された場合は、以下の対処方法に従ってください。

バッテリーのエラー

エラーコード	メッセージ	意味	対処方法
–	バッテリー無し	内蔵バッテリーの残量がほとんどない。	AC パワーアダプターをつないで、満充電になるまで充電してください。詳しくは、「バッテリーを充電する」(22 ページ)をご覧ください。

メディアのエラー

エラーコード	メッセージ	意味	対処方法
M11	Memory Stick 読みこみエラー M11	コピー中に"メモリースティック"にアクセスできない。	再度 COPY(コピー)ボタンを押して、コピー操作をやり直してください。
M21	Memory Stick フォーマット不良 M21	"メモリースティック"のフォーマットエラー。	"メモリースティック"をフォーマットしてください。
M31	Memory Stick エラー M31	"メモリースティック"のエラー。	"メモリースティック"が壊れているので交換してください。
M12	CompactFlash 読みこみエラー M12	コピー中にコンパクトフラッシュカードにアクセスできない。	再度 COPY(コピー)ボタンを押して、コピー操作をやり直してください。

エラーコード	メッセージ	意味	対処方法
M22	CompactFlash フォーマット不良 M22	コンパクトフラッシュカードのフォーマットエラー。	コンパクトフラッシュカードをフォーマットしてください。
M32	CompactFlash エラー M32	コンパクトフラッシュカードのエラー。	コンパクトフラッシュカードが壊れているので交換してください。

警告メッセージ

エラーコード	メッセージ	意味	対処方法
W10	HDD 空き容量不足 W10	内蔵ハードディスクの空き容量不足。	内蔵ハードディスクの空き容量が不足しています。不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
W11	同名フォルダ 最大999個まで W11	同じ日付の名前がついたフォルダが最大数（999 個）を超えた。	同じ日付の名前がついたフォルダを削除してください。
W01	バッテリー 残量不足 W01	内蔵バッテリーの残量不足。	AC パワーアダプターをつないで本機をお使いください。
W02	M.S. と CF 2枚挿入不可 W02	"メモリースティック"とコンパクトフラッシュカードが両方入っている。	"メモリースティック"かコンパクトフラッシュカードを取り出してください。

致命的なエラー

エラーコード	メッセージ	意味	対処方法
F10	HDD 読み書きエラー F10	内蔵ハードディスクにアクセスできない。	お客様ご相談センターにお問い合わせください。
F20	HDD フォーマット不良 F20	内蔵ハードディスクのフォーマットエラー。	内蔵ハードディスクを再フォーマットしてください。詳しくは、「HDDフォーマットエラー(エラーコード:F20)が表示された場合」(66ページ)をご覧ください。 それでも解決しない場合は、お客様ご相談センターにお問い合わせください。
F30	HDD 認識不可能 F30	内蔵ハードディスクが認識できない。	お客様ご相談センターにお問い合わせください。
F01	コピー エラー F01	"メモリースティック"からのコピー時にエラーが起きた。	"メモリースティック"を入れ直してください。それでもエラーが続くときは、"メモリースティック"を交換してください。
F02	コピー エラー F02	コンパクトフラッシュカードからのコピー時にエラーが起きた。	コンパクトフラッシュカードを入れ直してください。それでもエラーが続くときは、コンパクトフラッシュカードを交換してください。

HDD フォーマットエラー(エラーコード:F20)が表示された場合

下記の手順で、本機の内蔵ハードディスクをフォーマットします。

1 **本機をパソコンに接続し、データのバックアップを取る。バックアップ終了後、本機をパソコンから取り外す。**

HDD フォーマットエラー(エラーコード:F20)が白黒液晶画面に表示されます。

警告

以下の操作を行うと、ハードディスク内のデータはすべて消去されます。

2 **COPY(コピー)ボタンを押しながら、CANCEL(キャンセル)ボタンを 5 回押す。**

次の画面が表示されます。

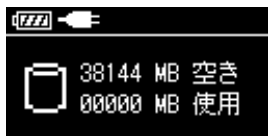
3 **COPY(コピー)ボタンを押す。**

次の画面が表示されます。

4 **もう一度 COPY(コピー)ボタンを押して、フォーマットを開始する。**

次の画面が表示され、ハードディスク内のデータがすべて消去されます。

フォーマットが完了すると、次の画面が表示されます。

5 COPY(コピー)ボタンを押して、処理を終了する。

内蔵ハードディスクのアプリケーションを出荷時の状態に戻したい場合は、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

商品について詳しくは、http://www.sony.co.jp/HDPS/ をご覧ください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX……………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。
1 ：修理受付
2 ：使用方法や故障と思われるご相談
3 ：お買物相談
4 ：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5 ：その他のご相談

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1